

令和2年度
羽村市市政世論調査報告書
(概要版)

令和2年11月
羽村市

調査の目的

本調査は、羽村市民の市政に対する意見・要望などを把握し、今後の市の取り組みや施策に活かすことを目的に実施しました。

調査の方法と回収状況

(1)調査の地域	: 羽村市全域
(2)調査の対象者	: 羽村市在住の満 18 歳以上の男女(令和2年8月1日基準日)
(3)標本の抽出	: 住民基本台帳から層化二段無作為抽出
(4)標本数	: 1,200 人
(5)調査期間	: 令和2年8月 24 日から令和2年9月 10 日まで
(6)調査方法	: 郵送配付・郵送回収
(7)有効回収数(率)	: 538 票(44.8%) <前回 518 票(43.2%)>

調査項目

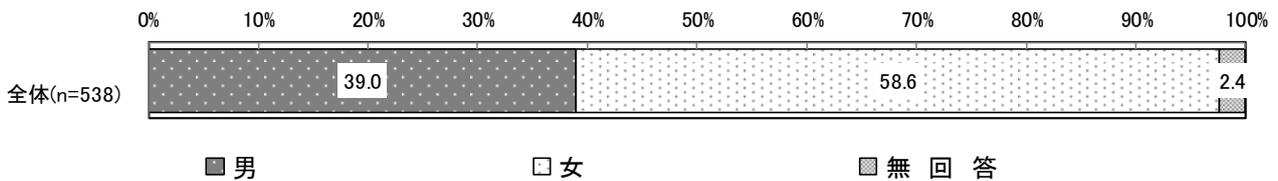
(1)定住性と住みよさ	(2)市の取り組みに対する満足度・重要度
(3)羽村市の魅力・羽村らしさ	(4)市政への関心度
(5)市民活動	(6)男女共同参画
(7)行財政改革	(8)水道事業
(9)環境	(10)高齢者福祉
(11)障害者福祉	(12)子育て支援
(13)防災・防犯対策	(14)都市基盤
(15)生涯学習	(16)あなた自身のことについて

概要版を見るにあたっての注意事項

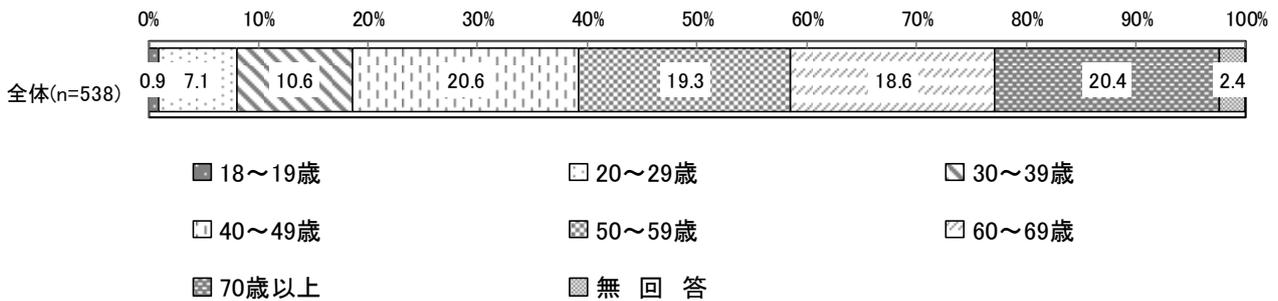
(1)表、グラフ中の「n」は、各設問に対する回答者数を示しています。
(2)百分率(%)の計算は、「n」を分母とし、小数点以下第二位を四捨五入して表示しています。したがって、単数回答(選択肢を1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、百分率を足し合わせても100.0%にならない場合があります。また、複数回答(選択肢を2つ以上選んでよい問)においては、百分率の合計が100.0%を超える場合があります。
(3)ゾーニング分析については、小数点以下第二位までの表示となっておりますが、より正確な分析を行うため、小数点以下第三位までを考慮して分析しています。
(4)紙面の都合上、図表や選択肢の表示には一部省略しているものがあります。

回答者の属性

◆性別（単数回答）



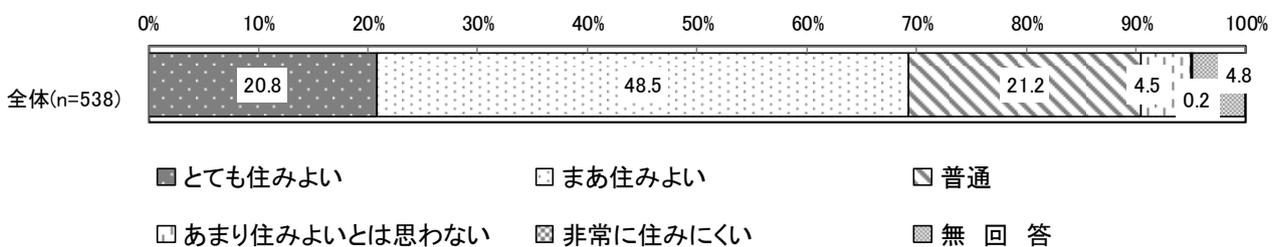
◆年齢（単数回答）



1. 定住性と住みよさ

◆住みよさ（単数回答）

<住みよい>（「とても住みよい」＋「まあ住みよい」）が69.3%、次いで「普通」（21.2%）、<住みにくい>（「あまり住みよいとは思わない」＋「非常に住みにくい」）（4.7%）となっています。



◆住みよい理由（単数回答）

（住みよさで「とても住みよい」、「まあ住みよい」と回答した方）

住みよい理由の上位回答は、「自然環境がよい」が47.2%、次いで「道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が整備されている」（18.5%）、「買い物が便利」（8.0%）となっています。

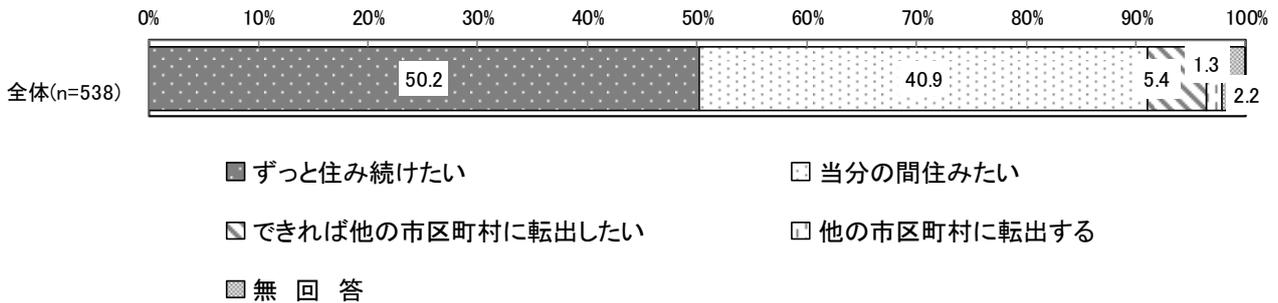
◆住みにくい理由（単数回答）

（住みよさで「あまり住みよいとは思わない」、「非常に住みにくい」と回答した方）

住みにくい理由の上位回答は、<住みにくい>（「あまり住みよいとは思わない」＋「非常に住みにくい」）と回答した方では、「買い物が不便」が24.0%、次いで「医療や福祉サービスが充実していない」（16.0%）、「交通の便がよくない」・「道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が不十分」（12.0%）となっています。

◆定住意向（単数回答）

「ずっと住みたい」が 50.2%、次いで「当分の間住みたい」（40.9%）、「できれば他の市区町村に転出したい」（5.4%）、「他の市区町村に転出する」（1.3%）となっています。



2. 市の取組みに対する満足度・重要度

◆市の取組みに対する満足度・重要度から見たゾーニング分析について

市で取り組んでいる様々な施策に対する満足度・重要度の評価について、第五次羽村市長期総合計画の基本目標ごとに、満足度を横軸、重要度を縦軸とし、平均値を境として4つの領域に分類するゾーニング分析を実施しました。（各問、満足度・重要度それぞれ単数回答）

【各取組みの平均値の算出方法】

市の取組みに対する満足度・重要度について、4段階で回答をいただきました。

「満足である」「重要である」と回答した場合＝4点

「どちらかと言えば満足」「どちらかと言えば重要」と回答した場合＝3点

「どちらかと言えば不満」「どちらかと言えば重要でない」と回答した場合＝2点

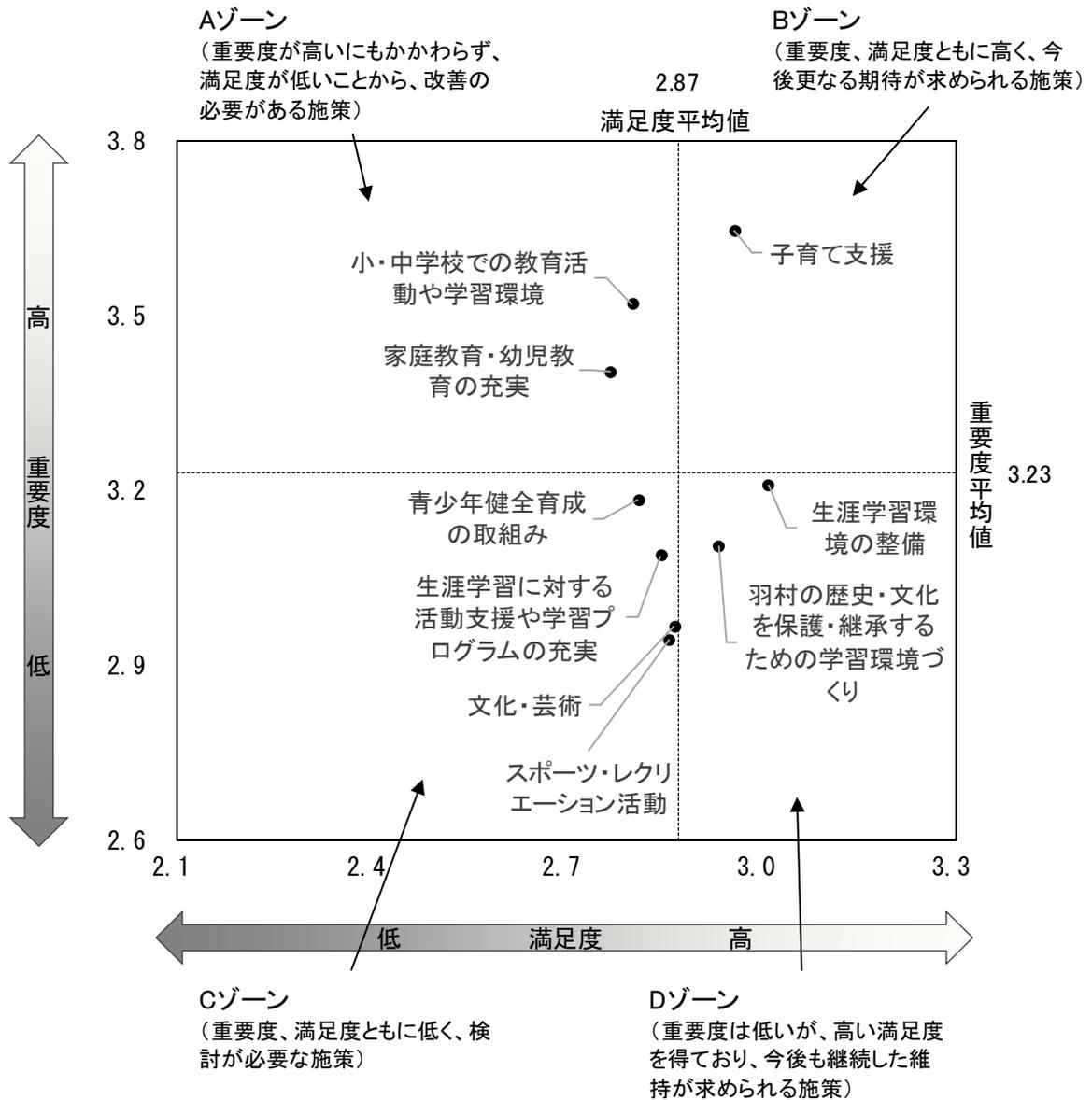
「不満である」「重要でない」と回答した場合＝1点

これらの得点を用いて、「4点」から「1点」の回答者をベースに加重平均値を計算しました。

【各ゾーンの特性】

Aゾーン	Bゾーン
【重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い項目】 重要度が高いにもかかわらず、満足度が低いことから、改善の必要がある施策	【重要度、満足度ともに平均値より高い項目】 重要度、満足度ともに高く、今後更なる期待が求められる施策
Cゾーン	Dゾーン
【重要度、満足度ともに平均値より低い項目】 重要度、満足度ともに低く、検討が必要な施策	【重要度が平均値より低く、満足度が平均値より高い項目】 重要度は低いですが、高い満足度を得ており、今後も継続した維持が求められる施策

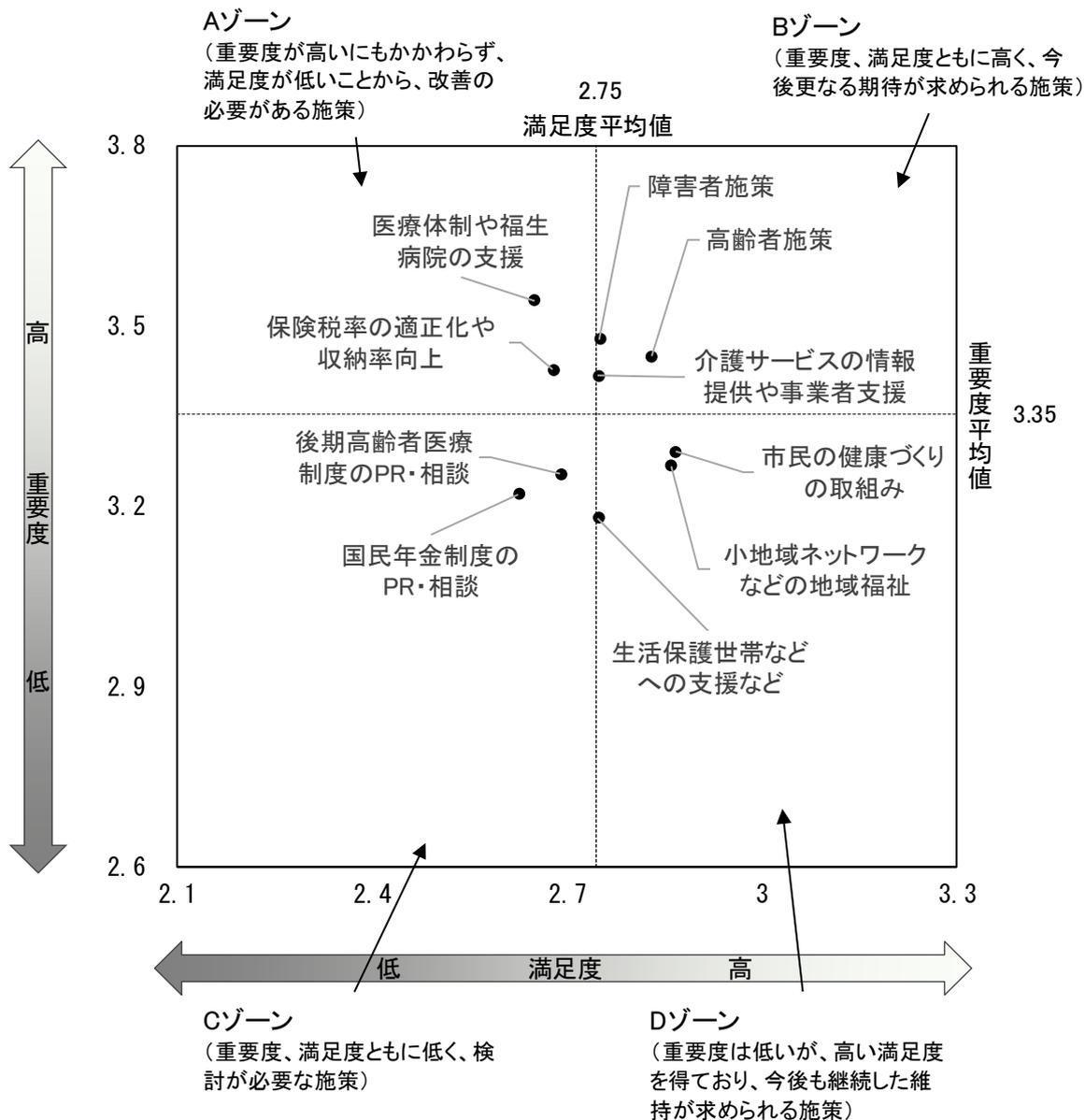
◆基本目標1：生涯を通じて学び育つまち



ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	家庭教育・幼児教育の充実	2.77	3.40
	小・中学校での教育活動や学習環境	2.80	3.52
Bゾーン	子育て支援	2.96	3.65
Cゾーン	青少年健全育成の取組み	2.81	3.18
	生涯学習に対する活動支援や学習プログラムの充実	2.85	3.09
	文化・芸術	2.87	2.97
	スポーツ・レクリエーション活動	2.86	2.94
Dゾーン	生涯学習環境の整備	3.01	3.21
	羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり	2.93	3.10
平均値		2.87	3.23

※平均値と同じ得点の項目については、小数点以下第三位までを考慮しています。

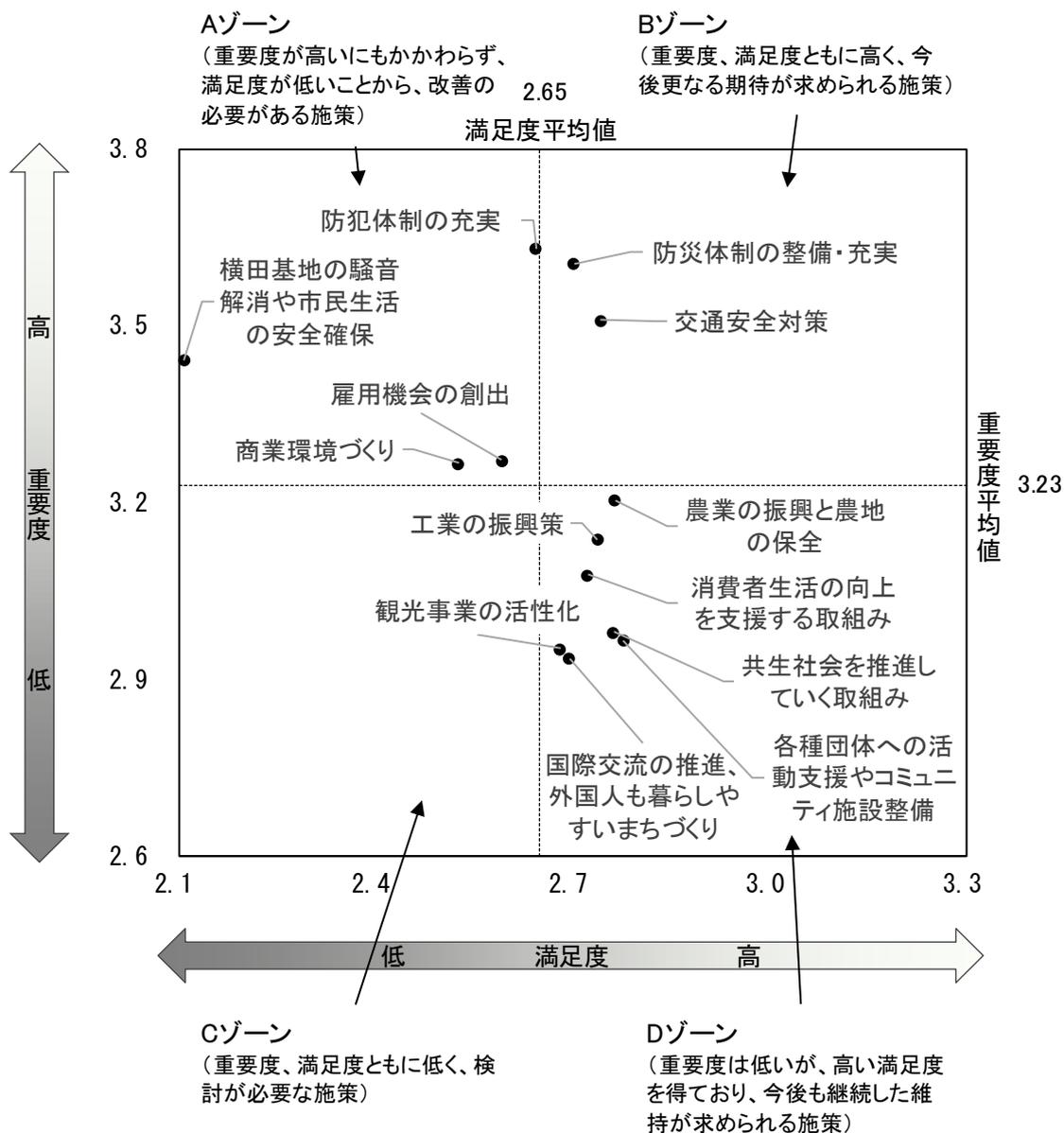
◆基本目標2：安心して暮らせる支えあいのまち



ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	保険税率の適正化や収納率向上	2.68	3.43
	医療体制や福生病院の支援	2.65	3.54
Bゾーン	高齢の方がいきいきと安心して暮らせるための取り組み(高齢者施策)	2.83	3.45
	障害のある方が地域の中で安心して暮らせるための取り組み(障害者施策)	2.75	3.48
	介護サービスの情報提供や事業者支援	2.75	3.42
Cゾーン	後期高齢者医療制度のPR・相談	2.69	3.25
	国民年金制度のPR・相談	2.63	3.22
Dゾーン	小地域ネットワークなどの地域福祉	2.86	3.27
	生活保護世帯などへの支援など	2.75	3.18
	市民の健康づくりの取り組み	2.87	3.29
平均値		2.75	3.35

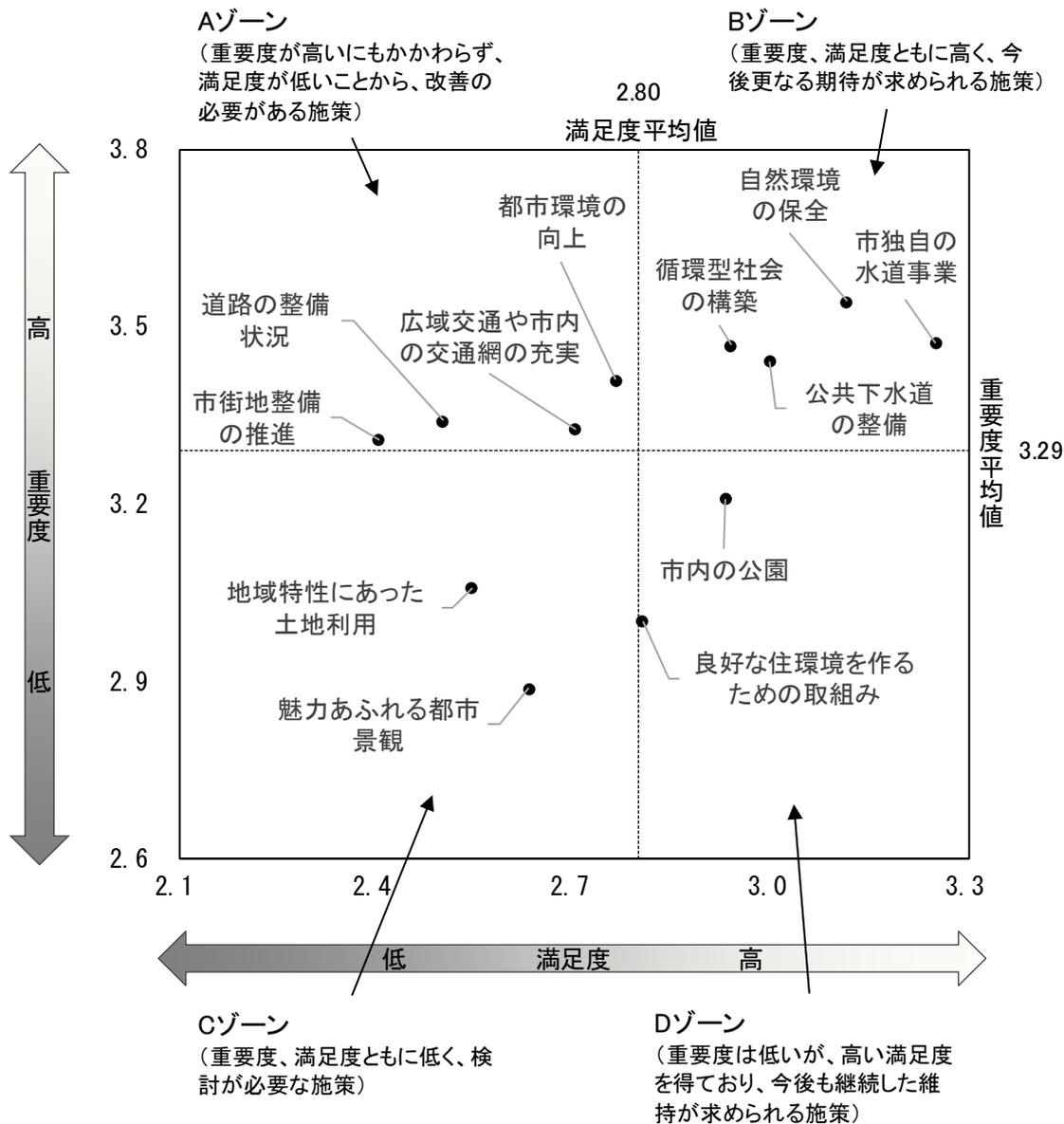
※平均値と同じ得点の項目については、小数点以下第三位までを考慮しています。

◆基本目標3：ふれあいと活力のあふれるまち



ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	防犯体制の充実	2.64	3.63
	横田基地の騒音解消や市民生活の安全確保	2.11	3.44
	商業環境づくり	2.52	3.27
	雇用機会の創出	2.59	3.27
Bゾーン	防災体制の整備・充実	2.70	3.61
	交通安全対策	2.74	3.51
Dゾーン	工業の振興策	2.74	3.14
	農業の振興と農地の保全	2.76	3.20
	観光事業の活性化	2.68	2.95
	消費者生活の向上を支援する取組み	2.72	3.08
	各種団体への活動支援やコミュニティ施設整備	2.78	2.97
	共生社会を推進していく取組み	2.76	2.98
	国際交流の推進、外国人も暮らしやすいまちづくり	2.69	2.94
平均値		2.65	3.23

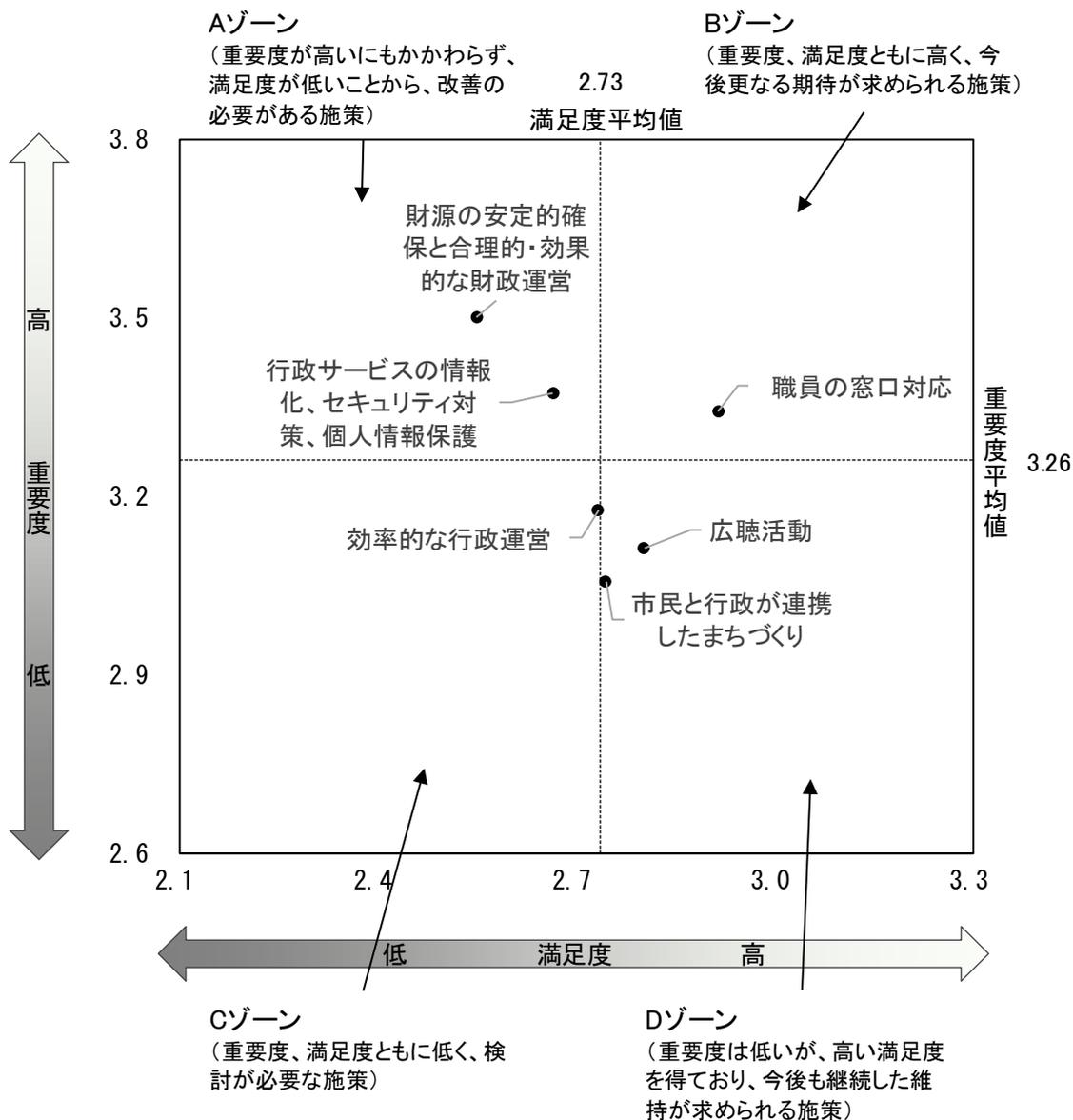
◆基本目標4：ひとと環境にやさしい安全で快適なまち



ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	都市環境の向上	2.76	3.41
	市街地整備の推進	2.40	3.31
	道路の整備状況	2.50	3.34
	広域交通や市内の交通網の充実	2.70	3.33
Bゾーン	自然環境の保全	3.11	3.54
	循環型社会の構築	2.94	3.47
	市独自の水道事業	3.25	3.47
	公共下水道の整備	3.00	3.44
Cゾーン	魅力あふれる都市景観	2.63	2.89
	地域特性にあった土地利用	2.54	3.06
Dゾーン	良好な住環境を作るための取組み	2.93	3.21
	市内の公園	2.80	3.00
平均値		2.80	3.29

※平均値と同じ得点の項目については、小数点以下第三位までを考慮しています。

◆基本構想を推進するために



ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	行政サービスの情報化、セキュリティ対策、個人情報保護	2.66	3.37
	財源の安定的確保と合理的・効果的な財政運営	2.55	3.50
Bゾーン	職員の窓口対応	2.91	3.34
Cゾーン	効率的な行政運営	2.73	3.18
Dゾーン	市民と行政が連携したまちづくり	2.74	3.06
	広聴活動	2.80	3.11
平均値		2.73	3.26

※平均値と同じ得点の項目については、小数点以下第三位までを考慮しています。

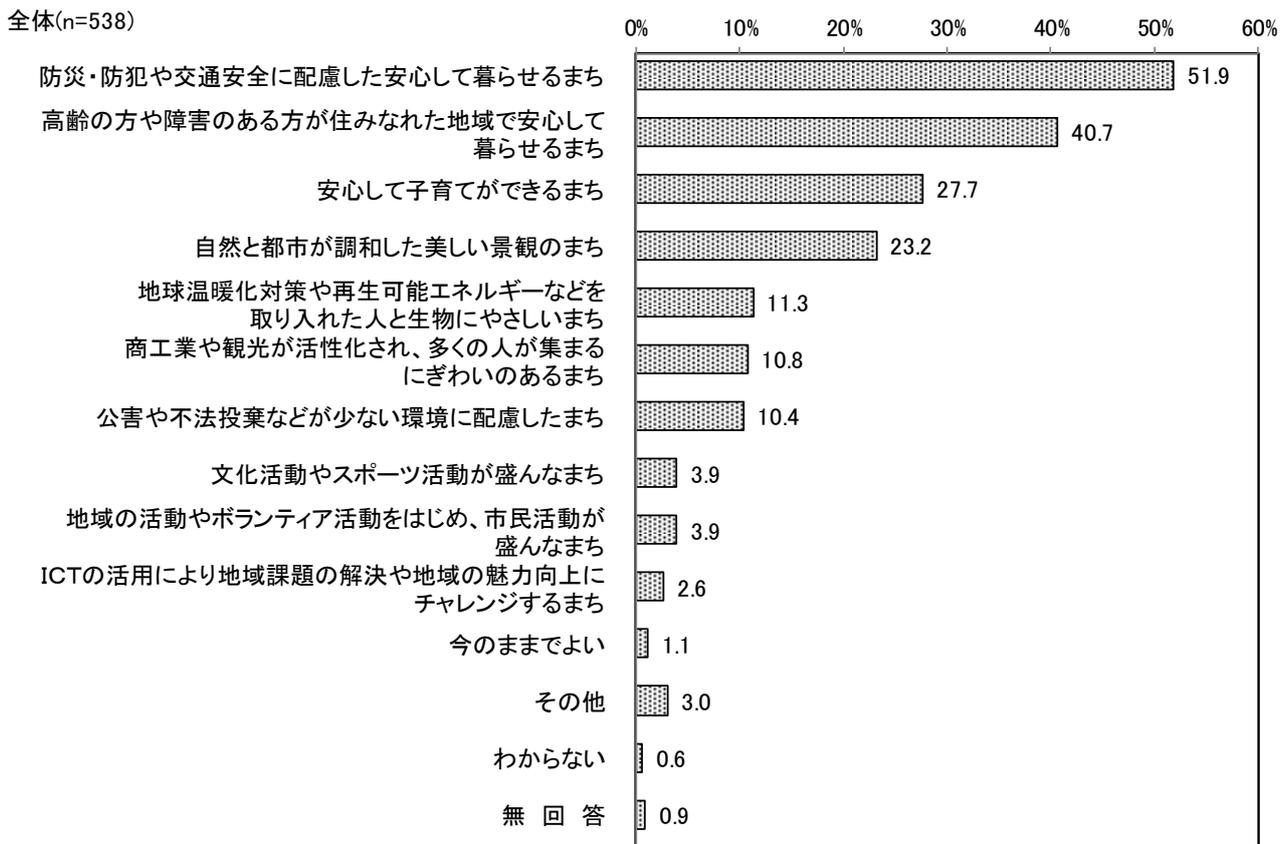
3. 羽村市の魅力・羽村らしさ

◆魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事（3つまで複数回答）

魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事の上位回答は、「羽村の堰」が58.4%、次いで「動物公園」（42.0%）、「花と水のまつり（さくらまつり、チューリップまつり）」（27.0%）となっています。

◆希望する将来の市のまちづくり（2つまで複数回答）

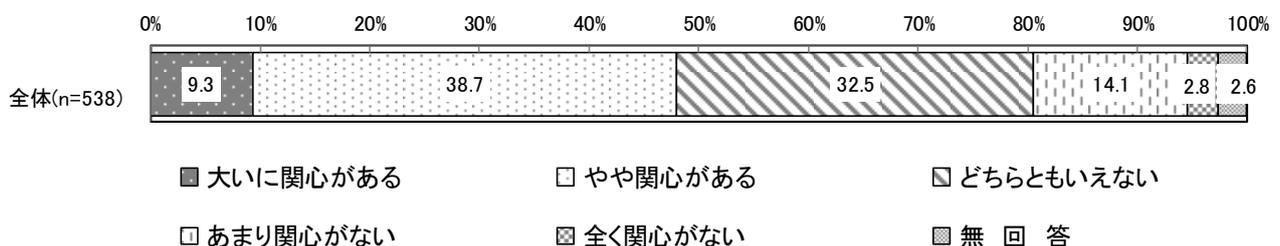
「防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち」が51.9%、次いで「高齢の方や障害のある方が住みなれた地域で安心して暮らせるまち」（40.7%）、「安心して子育てができるまち」（27.7%）となっています。



4. 市政への関心度

◆市政への関心度（単数回答）

＜関心がある＞（「大いに関心がある」＋「やや関心がある」）が48.0%、次いで「どちらともいえない」（32.5%）、＜関心がない＞（「あまり関心がない」＋「全く関心がない」）（16.9%）となっています。



◆力を入れてほしい、実施してもらいたい取組み（3つまで複数回答）

力を入れてほしい、実施してもらいたい取組みの上位回答は、「高齢者福祉」が33.8%、次いで「医療機関の充実に向けた支援」（28.1%）、「水や緑を守る自然環境対策」（22.3%）となっています。

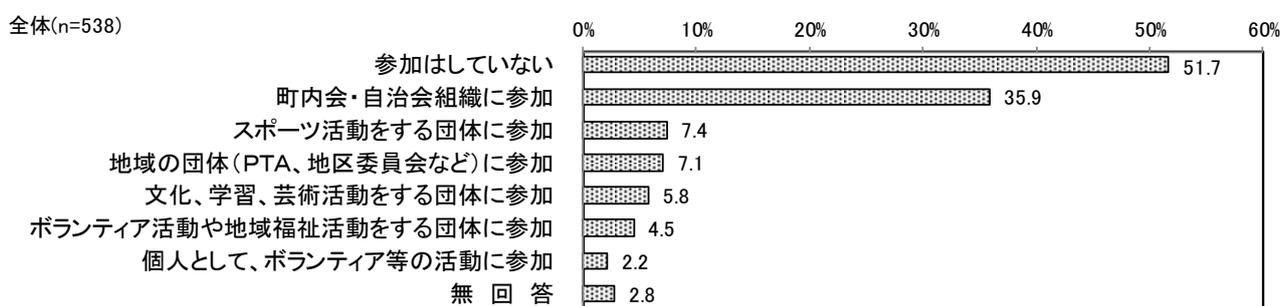
◆市政への参加・協働意向（単数回答）

市政への参加・協働意向の上位回答は、「参加したくない」が13.4%、次いで「参加をためらっている」（12.6%）、「出前講座などへの参加」（6.5%）となっています。

5. 市民活動

◆市民活動への参加状況（複数回答）

「参加はしていない」が51.7%、次いで「町内会・自治会組織に参加」（35.9%）、「スポーツ活動をする団体に参加」（7.4%）となっています。



◆町内会・自治会組織への不参加理由（2つまで複数回答）

（「市民活動への参加状況」で「町内会・自治会組織に参加」以外を回答した方）

町内会・自治会組織への不参加理由の上位回答は、「仕事やその他の活動が忙しく、参加する時間がない」が19.4%、次いで「役員などになりたくない」（17.0%）、「加入してもメリットが感じられない」（11.5%）となっています。

◆市民活動への不参加理由（2つまで複数回答）

（「市民活動への参加状況」で「参加はしていない」と回答した方）

市民活動への不参加理由の上位回答は、「忙しくて時間がとれない」が51.4%、次いで「人間関係がわずらわしい」（26.6%）、「活動自体に興味関心がない」（23.4%）となっています。

6. 男女共同参画

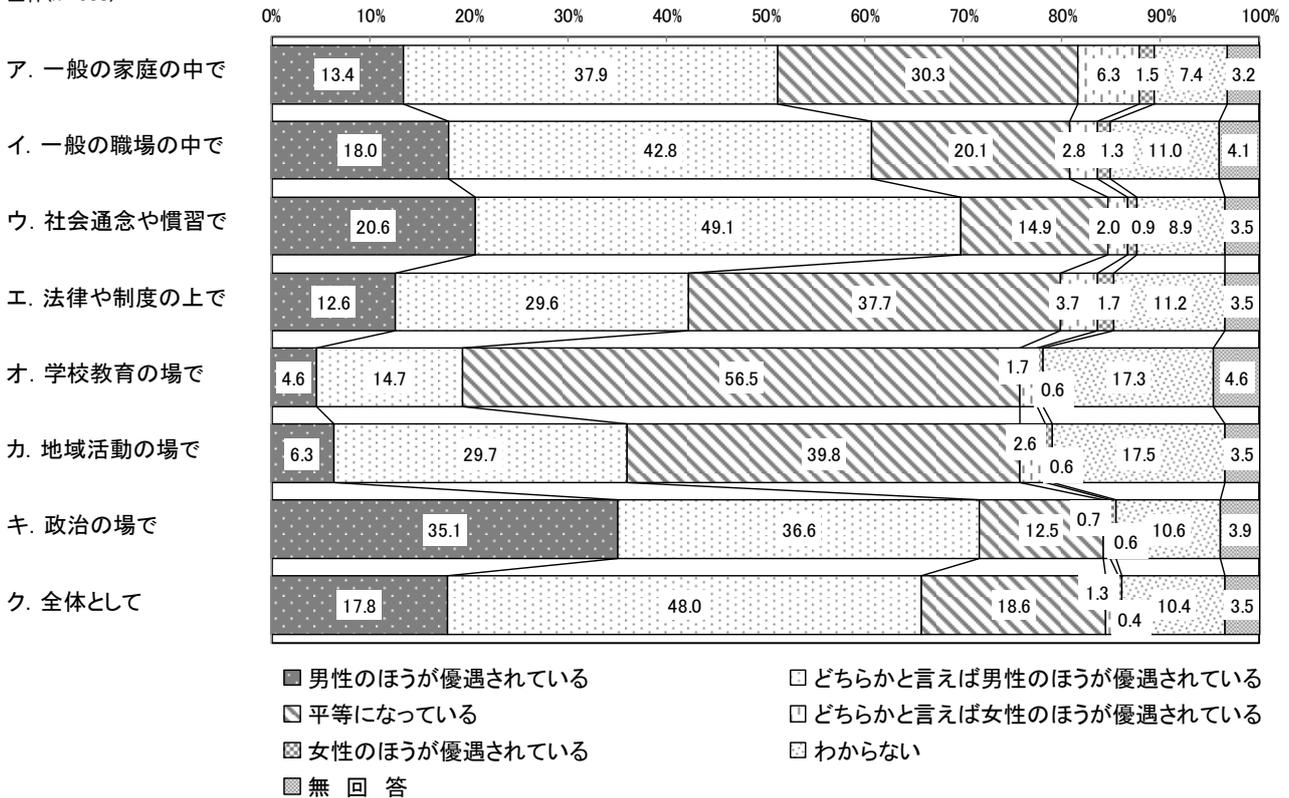
◆各分野における男女平等感（それぞれ単数回答）

「平等になっている」と回答した方では、「学校教育の場で」が56.5%、次いで「地域活動の場で」（39.8%）、「法律や制度の上で」（37.7%）となっています。

<男性優遇>（「男性のほうが優遇されている」＋「どちらかと言えば男性のほうが優遇されている」）と回答した方では、「政治の場で」が71.7%、次いで「社会通念や慣習で」（69.7%）、「全体として」（65.8%）となっています。

<女性優遇>（「女性のほうが優遇されている」＋「どちらかと言えば女性のほうが優遇されている」）と回答した方では、「一般家庭の中で」が7.8%、次いで「法律や制度の上で」（5.4%）、「一般の職場の中で」（4.1%）となっています。

全体(n=538)



◆男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこと（2つまで複数回答）

男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきことの上位回答は、「女性を政策決定の場に積極的に登用する」が22.7%、次いで「保育の施設やサービスを充実する」（21.6%）、「高齢者介護の施設やサービスを充実する」（18.8%）となっています。

◆女性が職業を持ち続けるために必要なこと（2つまで複数回答）

女性が職業を持ち続けるために必要なことの上位回答は、「家族の協力」が52.6%、次いで「働きやすい職場環境づくり」（49.6%）、「子育て支援制度の充実」（25.8%）となっています。

◆配偶者からの暴力について相談可能窓口の認知度（単数回答）

「知らない」が54.6%、「知っている」が40.9%となっています。

◆男女間の暴力を防止するために必要なこと（2つまで複数回答）

男女間の暴力を防止するために必要なことの上位回答は、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が53.7%、次いで「学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う」（32.7%）、「加害者への罰則を強化する」（29.6%）となっています。

◆主な家事従事者（それぞれ単数回答）

「炊事・洗濯・掃除などの家事」「育児や子どものしつけ」「親や家族の介護」「町内会・自治会などの地域活動」「子どもの学校・保育園等の行事への参加」のそれぞれに関して、自分や配偶者、家族等から主な家事従事者について聞いたところ、「主に自分」と回答した方では「炊事・洗濯・掃除などの家事」が50.4%、「自分と配偶者が同じくらい」と回答した方では「育児や子どものしつけ」が20.8%、

「主に配偶者」と回答した方では「炊事・洗濯・掃除などの家事」が 22.3%、「主に配偶者以外の家族」と回答した方では「炊事・洗濯・掃除などの家事」が 7.1%、「家族以外の人に依頼」と回答した方では「親や家族の介護」が 1.3%と最も高くなっています。

◆男女共同参画に必要なこと（3つまで複数回答）

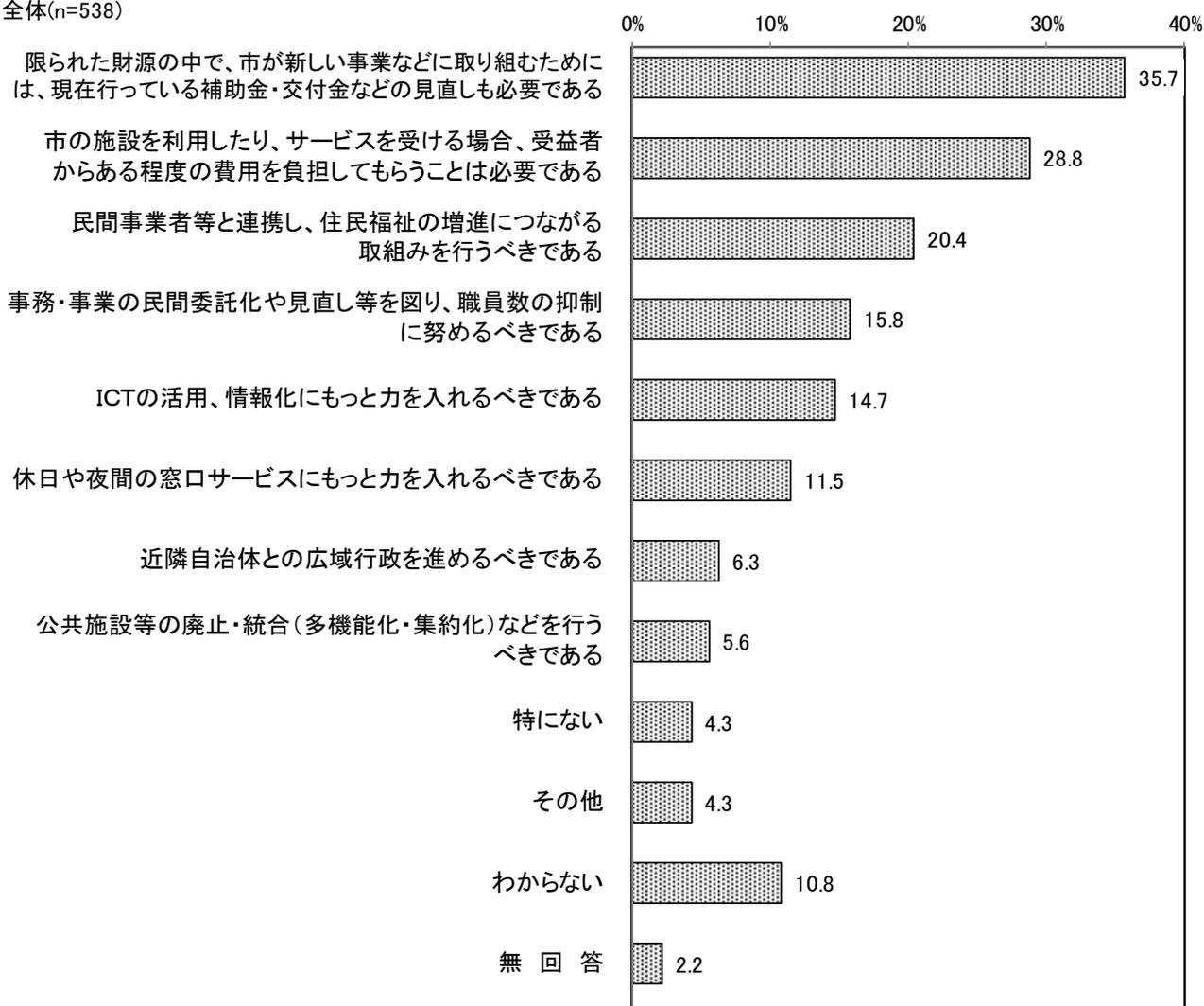
男女共同参画に必要なことの上位回答は、「夫婦や家族間でコミュニケーションを積極的に行う」が 47.2%、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」(37.2%)、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改める」(35.9%) となっています。

7. 行財政改革

◆行財政改革に対する考え（2つまで複数回答）

「限られた財源の中で、市が新しい事業などに取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である」が 35.7%、次いで「市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である」(28.8%)、「民間事業者等と連携し、住民福祉の増進につながる取組みを行うべきである」(20.4%) となっています。

全体(n=538)



8. 水道事業

◆市水道事業の水源の周知度（単数回答）

「知っている」が79.6%、「知らない」が19.3%となっています。

◆市水道水の印象（単数回答）

〈おいしい〉（「おいしい」＋「どちらかと言えばおいしい」）が91.4%、次いで「わからない（飲まない）」（5.2%）、〈おいしくない〉（「どちらかと言えばおいしくない」＋「おいしくない」）（2.6%）となっています。

9. 環境

◆環境への取組みとして重点をおくべきもの（3つまで複数回答）

環境への取組みとして重点をおくべきものの上位回答は、「樹木や緑地を守り育てる取組み」が42.4%、次いで「多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取組み」（35.1%）、「ごみの減量や資源リサイクルなど循環型社会を進める取組み」（29.6%）となっています。

◆「グリーン購入」制度の認知度（単数回答）

「知らない」が66.4%、「知っている」が29.4%となっています。

◆「グリーン購入」の製品の購入状況（単数回答）

（「グリーン購入」制度の認知度で「知っている」と回答した方）

〈購入した〉（「よく購入している」＋「購入したことがある」）が80.4%、次いで「購入したことがない」（14.6%）となっています。

10. 高齢者福祉

◆市に力を入れてほしい高齢者福祉に関する取組み（2つまで複数回答）

市に力を入れてほしい高齢者福祉に関する取組みの上位回答は、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実」が34.0%、次いで「高齢の方の健康づくり・介護予防策の充実」（33.1%）、「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」（32.3%）となっています。

◆老後の暮らし方（2つまで複数回答）

老後の暮らし方の上位回答は、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」が51.7%、次いで「日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい」（45.2%）、「自分に適した仕事を持ちたい」（28.6%）となっています。

11. 障害者福祉

◆今後必要な障害者福祉に関する取組み（2つまで複数回答）

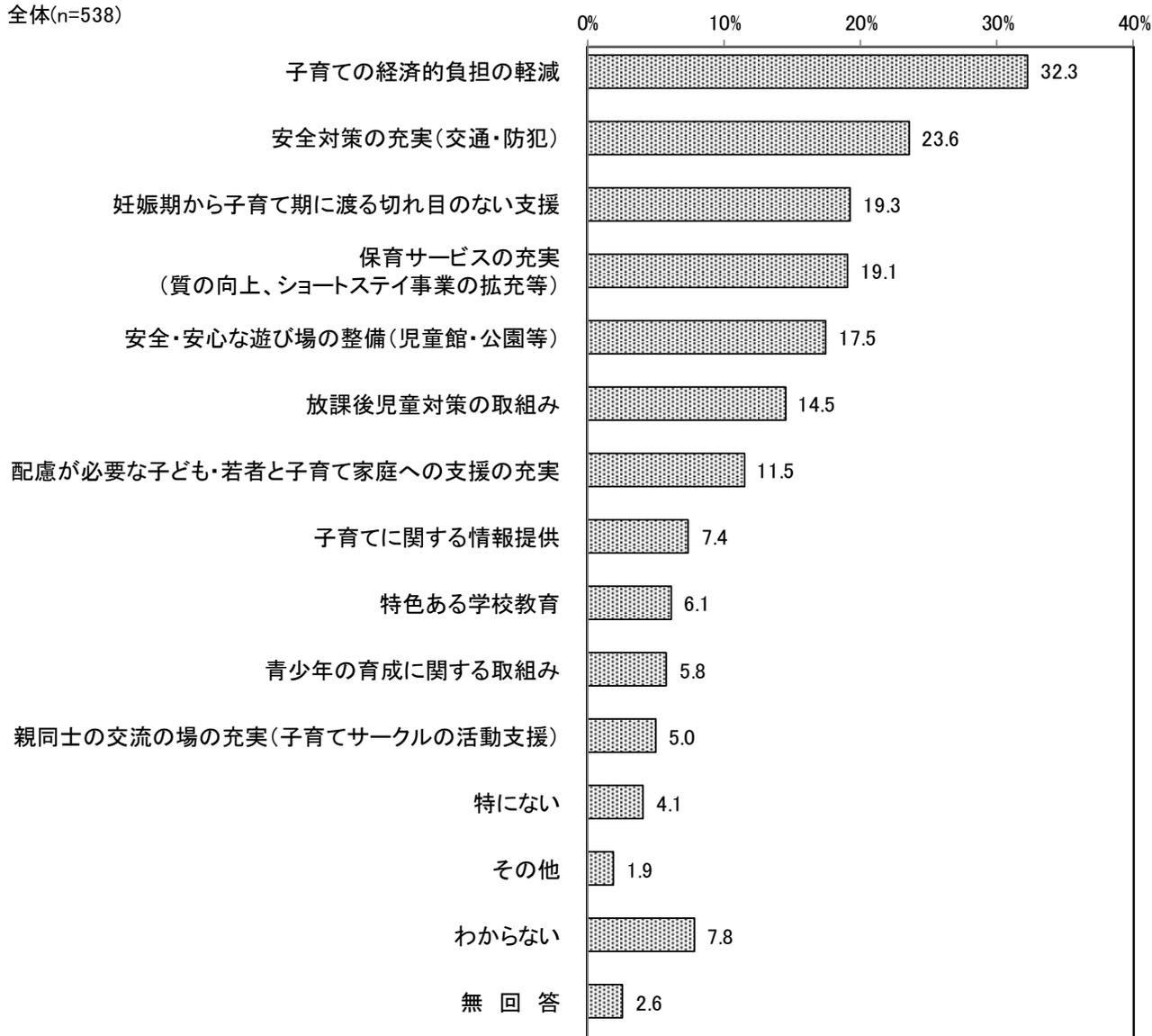
今後必要な障害者福祉に関する取組みの上位回答は、「障害のある方の雇用や就労促進につなげる支援の充実」が42.9%、次いで「障害のある方が気軽に相談できる窓口などの充実」（24.5%）、「グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実」（16.2%）となっています。

12. 子育て支援

◆今後必要な子育て支援に関する取組み（2つまで複数回答）

今後必要な子育て支援に関する取組みの上位回答は、「子育ての経済的負担の軽減」が32.3%、次いで「安全対策の充実（交通・防犯）」（23.6%）、「妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援」（19.3%）となっています。

全体(n=538)



13. 防災・防犯対策

◆防災対策で重点をおいて進めるべきもの（3つまで複数回答）

防災対策で重点をおいて進めるべきものの上位回答は、「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」が50.2%、次いで「応急医療体制の充実」（33.5%）、「誰もが情報を入手できる防災情報提供体制の整備」（31.0%）となっています。

◆防犯対策で重点をおいて進めるべきもの（2つまで複数回答）

防犯対策で重点をおいて進めるべきものの上位回答は、「公共の場などへの防犯カメラの設置」が40.9%、次いで「パトロールカーによる巡回の強化の要請」（34.9%）、「交番への警察官の常時配置の要請」（22.5%）となっています。

14. 都市基盤

◆市の都市基盤整備に望むこと（2つまで複数回答）

市の都市基盤整備に望むことの上位回答は、「バリアフリーのまちづくり」が30.9%、次いで「市街地の整備（土地区画整理事業・市街地再開発事業など）」（27.3%）、「道路の整備」（26.6%）となっています。

◆市の道路整備で優先すべきもの（3つまで複数回答）

市の道路整備で優先すべきものの上位回答は、「自転車の通行スペースの確保」が40.3%、次いで「街路灯・カーブミラー設置等の交通安全施設の充実」（35.5%）、「歩道の拡幅」（33.1%）となっています。

◆まちの活性化のために必要な取組み（2つまで複数回答）

まちの活性化のために必要な取組みの上位回答は、「いろいろな業種の商店が集まるような取組み」が39.2%、次いで「駐車場や駐輪場の整備」（28.1%）、「駅前空き店舗の活用」（26.8%）となっています。

15. 生涯学習

◆「学び」に関する活動の実施（単数回答）

「はい」が53.5%、「いいえ」が42.8%となっています。

◆「学び」を行う目的（複数回答）

（「学び」に関する活動の実施で「はい」と回答した方）

「学び」を行う目的の上位回答は、「趣味・楽しみのため」が63.5%、次いで「自身の向上のため」（52.1%）、「仕事に必要なため」（30.6%）となっています。

◆「学び」の分野（複数回答）

（「学び」に関する活動の実施で「はい」と回答した方）

「学び」の分野の上位回答は、「スポーツ」が26.0%、次いで「文学・読書」（24.3%）、「音楽・映像」・「健康・食育」（19.4%）となっています。

◆これからの「学び」に取り組むための目的（複数回答）

（「学び」に関する活動の実施で「いいえ」と回答した方）

これからの「学び」に取り組むための目的の上位回答は、「趣味・楽しみのため」が61.3%、次いで「資格取得などのため」（34.3%）、「スポーツ・健康増進のため」（32.6%）となっています。

◆「学び」に取り組まなかった理由（複数回答）

（「学び」に関する活動の実施で「いいえ」と回答した方）

「学び」に取り組まなかった理由の上位回答は、「時間的なゆとりがなかったから」が53.9%、次いで「動機・熱意が不足していたから」（27.4%）、「経済的なゆとりがなかったから」（23.0%）となっています。

◆月間の読書冊数（単数回答）

月間の読書冊数の上位回答は、「2～1冊」が40.5%、次いで「5～3冊」（22.9%）、「読んでいない」（22.1%）となっています。

◆読書の目的（複数回答）

（月間の読書冊数で「読んでいない」以外を回答した方）

読書の目的の上位回答は、「知識・教養を深めるため」が50.0%、次いで「趣味の世界を広げるため」（41.9%）、「心を豊かにするため」（40.0%）となっています。

◆本の入手方法（複数回答）

（月間の読書冊数で「読んでいない」以外を回答した方）

本の入手方法の上位回答は、「書店・コンビニで購入」が71.3%、次いで「通信販売で購入」（33.6%）、「羽村市図書館で借りる」（27.9%）となっています。

◆年間のスポーツ・運動日数（単数回答）

年間のスポーツ・運動日数の上位回答は、「ほとんどしない」が30.1%、次いで「週に3日以上」（19.5%）、「週に1日以上（1時間以上）」（15.2%）となっています。

◆スポーツ・運動を行う理由（複数回答）

（年間のスポーツ・運動日数で「全くしない」以外を回答した方）

スポーツ・運動を行う理由の上位回答は、「運動不足の解消のため」が42.4%、次いで「健康維持・増進のため」（38.8%）、「楽しみや気分転換のため」（32.0%）となっています。

◆この1年間に行ったスポーツ・運動の種目（複数回答）

（年間のスポーツ・運動日数で「全くしない」以外を回答した方）

この1年間に行ったスポーツ・運動の種目の上位回答は、「ウォーキング・散歩」が70.6%、次いで「体操（ラジオ体操・エアロビクス・ストレッチ・ヨガなど）」（36.9%）、「球技（野球・ソフトボール・サッカー・バレーボール・テニス・卓球・フィールドゴルフなど）」（15.7%）となっています。

令和2年 11 月発行

令和2年度 羽村市市政世論調査報告書(概要版)

発行 羽村市企画総務部広報広聴課
所在地: 〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5丁目2番地1
T E L: 042-555-1111(代表)
F A X: 042-554-2921
U R L: <http://www.city.hamura.tokyo.jp/>

調査委託 株式会社47ブランディング
所在地: 〒171-0021 東京都豊島区西池袋1丁目5番3号 エルグビル8階
T E L: 03-5904-9015
U R L: <https://47bd.co.jp/>

